編 集 後 記

今号には従来と異なる点がいくつかある。(1)口絵写真が無いこと、(2)近況随筆欄が無いこと、(3)卒業論文のいくつかが短報として掲載されていること、(4)修士論文要旨欄の新設、および(5)発行日が遅くなったことである。

(1)口絵については、31号以降4号にわたり、口絵の掲載が無かったか、従来とは性格が異なる口絵であったことが続いたため、編集委員会幹事が忘れた結果である。(2)については、後で詳述する。(3)は、新規の試みであり、今後維持できるかどうかは、卒業論文の内容と会員の意見による。(4)は、修士論文を改稿して専門誌等に投稿する場合に、二重投稿となることを避ける措置である。(5)は、従来のスケジュールでは、修士論文を短報として投稿する場合に時間的余裕が無かったこと、それにともない編集作業もきつかったことを改善する趣旨であった。ただし、本号はその趣旨を超えてさらに遅れた。

近況随筆欄については、当初廃止のつもりで、編集委員会幹事より委員に文書による了解を求めたが、強硬な反対意見があった。しかしながら、従来と同じ趣旨での掲載には、編集実務的に対応が困難であったので、今回は休載とした。なお、これらの措置が、非民主的との謗りに相当することは明かである。しかしながら、学会規約にはこのような問題に対する具体的な規定がなく、総会における事業計画との関係もよくわからない。いづれにしても、学会運営に一石を投ずる覚悟で、あえて強行した次第である。

近況随筆欄の休載・あり方について、会員各位から御意見をいただきたい。その際、同欄に対する意見だけではなく、「お茶の水地理学会」、また「お茶の水地理」の性格・あり方に関わる問題という観点も含まれることになってもやむをえないだろう。今日、「お茶の水地理学会」をめぐる情勢も大きく変化しつつある。(ht)

1992/93年度お茶の水地理編集委員会名簿

田宮　兵衛*	熊谷　圭知	木曽　久子	向後紀代美
二瓶　直子	竹内眞知子	中俣　厚子	新井　桂子
小笠原洋子	石川　敦子	桜井　恭子	森川理夏子
佐藤ゆきの	穴口　朋子	瀧澤　香子	

(*幹事)

お茶の水地理第35号

平成6年8月25日　印刷
平成6年9月1日　発行
編集兼発行者　お茶の水地理編集委員会
発　行　所　お茶の水女子大学地理学教室内
お茶の水地理学会
〒112 東京都文京区大塚2－1－1
電話　03(3943)3151　内線346
振替　東　京　3－1848番
印　刷　所　㈱美　巧　社
〒112 東京都文京区小石川2－2－14
電話　03(3813)8231